

南科に フォーカス

世界と接続

国際交流

来賓の訪問、実力を展開

8名の代表を含む13カ国の駐台湾使節一行40名が2009年11月13日、国科会副主任委員陳正宏及び外交部副代表張明の付添いの下、台南園区を訪問し、南科管理局局長陳俊偉が自ら来賓に歴史発展と将来の目標を説明し、同時に奇美電子、奇美博物館及び台達電を実地に参観しました。今回の訪問は駐台湾使節に台湾科学園区の発展を理解してもらうだけでなく、南科のハイテク方面での実力を展開することにあります。

国際提携案の調印

2009年11月27日、南科管理局とアジア・サイエンス園区協会(ASPA)及び韓国昌原集積発展局が提携覚書(MOU)を調印しました。南科管理局は2007年7月にアジア科学園区協会に入会し、昌原集積は韓国5大開発区の1

つで、産業は精密機械がメインです。覚書調印後、南科の精密機械産業の発展を促進し、国際組織を通じて双方の技術交流プラットフォーム構築が期待でき、南科の世界での認知度を向上させることができます。

グリーンエネルギー産業計画の考察

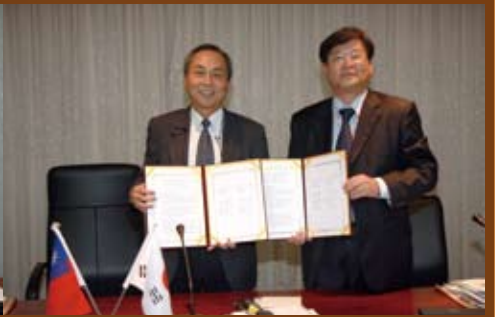
グリーンエネルギー産業を導入し、また欧州のグリーン園区経験を取入れる為、南科管理局と高雄県政府は2009年8月1日にドイツ、イギリス及びアイルランドへ赴き、太陽エネルギー産業の誘致、国外太陽エネルギー産業の観察、グリーン園区及び都市改造発展計画の考察を行いました。企業誘致を除き、ドイツ・エッセン工業区の再生計画、ルール区の再建計画、ハンブルグ市を欧州グリーン首都にする都市発展戦略及びイギリス・エッチンガーのゼロ損耗生態コミュニティ等はいずれも南科が将来発展すべき重要な参考になりました。



南科管理局局長陳俊偉(左2)が欧州環境保護科学技術園区の経験を聴取(2009.8.1)



南科管理局局長陳俊偉(右)とアジア科学園区協会会長李鍾玄(左)とMOU調印後に記念撮影(2009.11.27)



南科管理局局長陳俊偉(左)と韓国昌原集積發展局局長洪宗焜(右)とMOU調印後に記念撮影(2009.11.27)



駐台湾使節団が南科管理局ロビーで記念撮影(2009.11.13)